

令和6年能登半島地震 金沢城公園の復旧・復興のあゆみ

地震により、金沢城公園では、国指定史跡を構成する文化財としての価値を有する石垣に被害があり、5箇所で崩落、23箇所で変形が確認されました。また、鶴丸倉庫（重要文化財建造物）の外壁などにも被害がありました。

県では、崩落や大きな変形が生じた石垣について、発災直後から、被害拡大防止のための応急対応や、危険な箇所への立入禁止措置を行いました。現在は、復旧（石垣の積み直し）作業として、石材の調査・回収を進めており、年内には崩落した5箇所の石垣の石材の回収を全て終える予定です。

引き続き、被災した石垣の早期復旧に全力で取り組んでいきます。

金沢城公園の石垣の被災状況



復旧・復興のトピックス

②石川門前土橋石垣・⑤尾坂門北東石垣では崩落した石材の調査・回収作業を完了しました。

②石川門前土橋石垣



調査・回収作業とは？

往時の技術により積み重ねられた石垣は、石垣を構成する個々の石材も文化財としての価値を有していることから、復旧にあたっては、原則として石材を元の位置に戻し、積み直すことになります。このため、崩落した石材1石ごとに番号を付けて、写真比較等により元の石垣のどこにあったかを調査し、記録を取ったうえで回収・保存します。

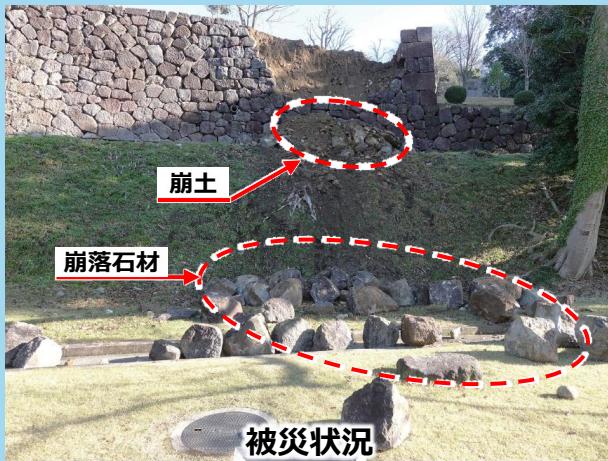


復旧工事の進捗状況

【崩落箇所】

残る3箇所（⑬、⑯、⑱）の石材の調査・回収作業を進めています。

⑬玉泉院丸南石垣



⑯本丸南石垣



【変形箇所】

石材の解体・回収作業を進めています。

⑩玉泉院丸南西石垣



【変形箇所】

変形の進行による石材の転倒・落下を防止する対策を進めています。

①数寄屋屋敷北西檜台石垣



②尾坂門南石垣（西）

